

地域医療連携 ニュース



渡會院長補佐（写真下から二段目中央）と整形外科・脊椎外科スタッフ

Contents

ご挨拶 (P.2)

院長補佐のご挨拶

脳神経内科・脳卒中内科のオンライン診療について (P.2)

医師のご紹介 (P.3)

診療科のご紹介 (P.4)

乳腺腫瘍科

看護部から (P.4)

薬剤部から (P.5)

医療連携シンフォニーを開催しました (P.5)

提携医療機関から (P.6)

東飯能駅前クリニック

第49回埼玉医科大学・連携施設懇談会を開催しました (P.6)

医療機関の方へ (P.7)

提携医療機関・登録医制度及びインターネット予約（カルナ予約）について／予約センター（電話初診予約）について

ご挨拶

院長補佐 渡會 恵介



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、当院に多大なるご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。さて整形外科では、2024年に開始された手術支援ロボットによる人工関節手術が通算100例を突破しました。脊椎分野では、手術中に3D画像が撮影できるOアームシステムを導入し高難度手術に対応しています。また関節鏡手術では最新の超広角スコープによる4K映像により手術精度が上昇しました。さらに上肢手術を中心に、患者さんにも優しい低被爆透視装置を使用しています。いずれの手術でも患者さんのニーズの高まりを実感しており、増加していくことが期待されます。今後も特定機能病院として、高度な手術をより安全に、そしてより正確に行うべく、診療を行って参りますので、ご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

脳神経内科・脳卒中内科のオンライン診療について

脳神経内科・脳卒中内科 診療部長 大山彦光 外来☎：049-276-2034

当科では、神経疾患患者さんの通院負担軽減と安定した診療継続を目的として、2025年5月よりオンライン診療を開始いたしました。

パーキンソン病をはじめとする慢性神経疾患では、移動の困難さや付き添いの必要性など、定期受診が大きな負担となることがあります。また、慢性頭痛、てんかん、チック障害などの機能性疾患では普段は症状が安定していますが、学校に通ったりお仕事をされたりしていることが多いため、頻繁な病院受診が難しい場合があります。これらの課題に対応するため、オンライン診療を導入しました。

オンライン診療は、原則として4か月に1度の対面診療と組み合わせたハイブリッド型の診療体制で実施しています。対面では身体診察、検査、医療機器の調整などを行い、オンラインではビデオ通話を介して、問診、視診を行い、病状の変化

を確認し、服薬調整、生活指導、療養相談などを行うことで、安全性と利便性の両立を図っています。

埼玉医大のシステムは、ヤードック・クイックというZoomをベースとしたセキュリティが担保された商用サービスを使用していますので、安心してご利用いただけます。事前に「後払いクレジットカードサービス」の登録と、ご自宅に薬を郵送する「とどくすりサービス」の登録が必要です。通常の前予約と同様、決められた日に予約をとって時間になったらビデオ通話を介した診療が始まります。

埼玉北西部・北関東エリアを広域にカバーしていくために、地域の医療機関の皆さまと連携し、神経疾患診療の質向上とアクセス改善に取り組んでまいります。

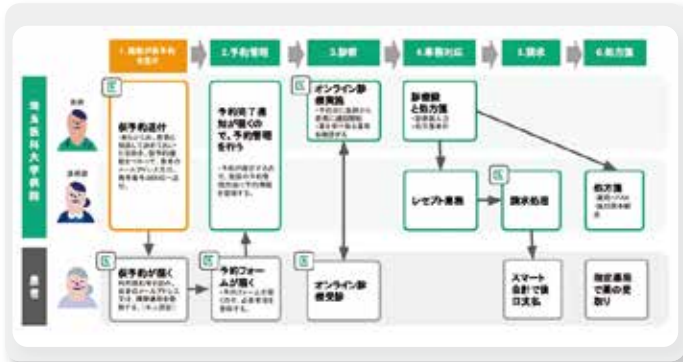


図 埼玉医科大学におけるオンライン診療



写真 実際のオンライン診療の様子



泌尿器科 助教 林 泰樹 (ハヤシ タイキ)

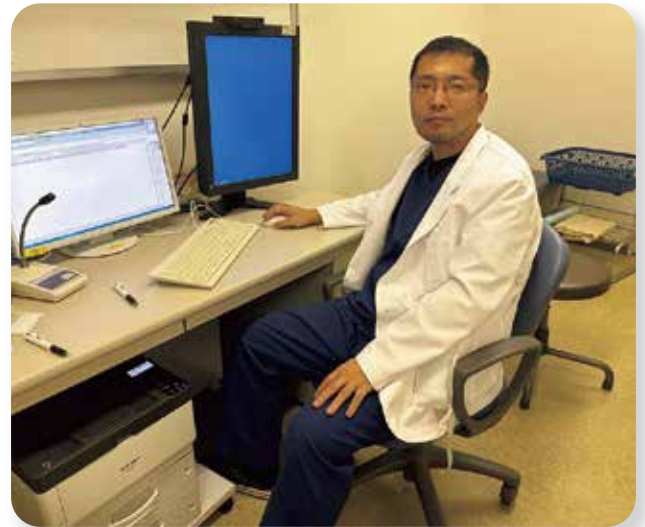
近隣の医療機関の皆様、日頃より病診連携にご協力くださりありがとうございます。

泌尿器科では、尿路感染症や泌尿器科腫瘍、排尿障害、尿路結石、骨盤臓器脱等の女性泌尿器疾患などの幅広い診療を行っております。

当科の診療内容は良性疾患を中心としておりますが、大学病院という強みを生かし重篤な併存疾患をお持ちの患者さんの診療や、神経内科と連携し神経疾患を背景とした神経因性下部尿路障害に診断・治療にも力を入れております。

また、悪性疾患に関しても国際医療センター泌尿器腫瘍科と合同カンファレンスを定期的に設けており、迅速かつ的確な診断・治療を進めるよう心掛けております。

地域の先生方におかれましては、泌尿器科疾患でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、お気軽にご相談・ご紹介ください。



内分泌内科・糖尿病内科 診療副部長 池上 裕一 (イケガミ ユウイチ)

本学卒業生で2006年から診療を続けています。経験豊富な専門医が多数在籍しており、年間の入院患者数1,068人、外来患者数

7,540人です。1型糖尿病では最新のインスリンポンプ療法を活用し、2型糖尿病では教育プログラム入院を実施しています。妊娠糖尿病では産科と密に連携しており、ご安心です。難病・希少疾患の診療はもちろんですが、原発性アルドステロン症では、独自に副腎静脈サンプリングを実施しています。今話題の肥満症治療も可能です。多くの当科ご出身の先生方が、近隣地域で診療されておりますし、当院、国際医療センター、他専門病院の外科とも速やかに連携を取っています。内分泌代謝疾患でお困りの患者さんがいましたらいつでもご紹介ください。また日頃より当科からのご依頼も引き受けていただき感謝申し上げます。



診療科のご紹介

乳腺腫瘍科 診療部長 浅野 彩 (アサノ アヤ)

外来☎ : 049-276-1774

当科は、乳がん検診の二次精査など診断を中心に週2回（月・水）外来診療を行っております。良悪性の鑑別が困難な乳腺腫瘍（乳癌、線維腺腫、葉状腫瘍、乳管内乳頭腫など）・石灰化病変・乳腺症・乳腺炎・女性化乳房など様々な乳腺疾患に対応しております。

画像診断モダリティとしては3Dマンモグラフィ・乳腺エコー・造影MRIを備えており、マンモグラフィガイド下（石灰化病変）／エコーガイド下（腫瘍）吸引式組織生検の両方に対応可能です。悪性疾患の治療は関連施設の埼玉医科大学

国際医療センター乳腺腫瘍科と連携し行っております。乳房は年齢やライフステージの変化とともに状態が変わる臓器であり、その変化や違和感に不安を抱える患者さんはたくさんおられます。患者さん一人ひとりの症状に合った検査や治療、またフォローアップ先をご提案させていただきます。何かお困りの患者さんがいらっしゃいましたら是非、一度当科にご紹介ください。



診療部長からのメッセージ 診療部長：浅野 彩

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中はたくさんの大切な患者さんをご紹介いただき、誠にありがとうございました。本年もより一層精進してまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

看護部から

新生児集中ケア認定看護師の活動紹介

新生児集中ケア認定看護師は、生まれたばかりの赤ちゃんのいのちを守り、健やかな成長発達を支える看護師です。NICU(新生児集中治療室)やGCU(新生児回復室)で、低出生体重児や呼吸・循環などのサポートが必要な赤ちゃんに対し、医師や多職種と協力しながら、安全でやさしいケアを行っています。



人工呼吸器の設定を確認している場面

また、赤ちゃんだけでなく、ご家族への支援も大切にしています。ご家族は、新たな命の誕生の喜びの反面、不安や心配を多く抱えています。小さな体で頑張るわが子を前に、不安や戸惑い

を抱えるご家族に寄り添い、必要な支援を受けられるよう調整し、安心して育児に向き合えるようお手伝いしています。

さらに、地域とのつながりを大切にし、新生児蘇生法講習会(NCPR)の開催を通して、医療従事者、救急隊などに向けた教育活動にも取り組んでいます。赤ちゃんのいのちを救うための知識や技術を地域全体で共有し、安心して出産・育児ができる環境づくりを目指しています。

これからも私たちは、「小さいいのちを守り家族を支える看護」を大切にし、埼玉医科大学病院のNICUから地域へ、赤ちゃんと家族の笑顔や安心が広がる活動を続けていきたいと思えます。



児のケアを行っている場面

新生児集中ケア認定看護師
生方歌織

薬剤部から

術前薬剤師外来では、入退院支援センターと麻酔科外来（術前）にて全身麻酔手術予定の患者さんを対象に面談を行っております。外来で薬剤師が入院前から面談を行う



指導時の風景

ことで、早い段階で服用している薬剤の情報や注意すべき薬剤を正確に把握し多職種と共有することで、患者さんがより安全に安心して手術が受けられることを目的としております。

近年、薬物治療の多様化により様々な作用・効果の薬剤があり、それに伴い手術を受ける患者さんへ影響のある薬剤が多数あります。私たち薬剤師は、お薬手帳や診療情報提供書、患者さんやご家族からの聞き取りを基に、休薬や注意が必要な薬剤について確認を行っております。

さらに、入院後も病棟薬剤師や手術室薬剤師と連携をはかり、術後も術後疼痛管理チームにて病棟と連携を図り疼痛軽減にも努めております。

術前薬剤師外来は、術前休止推奨薬剤の休薬不十分等に伴う手術の中止など薬剤に起因するインシデントの防止と周術期医療の安全性向上にも貢献できると考えており、今後も術前薬剤師外来を通して医師、看護師、医療事務などのスタッフと協力し、不安なく安心できる周術期管理・薬物治療を実践してまいります。



術前薬剤師外来担当者

第17回 診療連携シンフォニーを開催しました

埼玉医科大学病院診療連携シンフォニー（以下、シンフォニー）を学内の会場にて11月13日に開催致しました。

報告会形式にて、内分泌内科・糖尿病内科 教授 一色 政志先生より「高血圧管理・治療ガイドライン2025アップデートポイント～」として、ご報告いただきました。そして、飯能地区医師会 副会長 岡村 維摩先生より「地域医師会の現状と課題及び診療連携問題」についてご報告をいただきました。

シンフォニーは、今回で17回を迎え、盛況に開催することが出来ました。これも先生方のお力添えと感謝致しております。

す。今後も医療連携の構築に貢献できればと思っております。引き続きご理解ご協力戴きますようよろしくお願い申し上げます。

埼玉医科大学病院
診療連携シンフォニー 事務局



東飯能駅前クリニック 飯能市

埼玉医科大学には在学時より大変お世話になり、コロナ禍以降は研修会もWEBで参加しやすく助かっております。高齢の多重疾患や急患にも可能な限り御対応頂き、深く感謝申し上げます。当院は内科・循環器・透析を標榜し、東飯能駅から徒歩2分の立地で地域医療に努めています。透析回診や重症対応でお待ち頂くこともありますが、皆様のご理解とご協力に心より御礼申し上げ、今後も安全で質の高い診療を目指し取り組んで参ります。



院長：金子 敬子



院長：金子 敬子



当院の透析回診

医療機関情報

診療科目	内科／循環器内科／人工透析
診療時間 (受付終了 30分前迄)	月水金 午前 9:00～12:00 午後 15:00～18:00 火土 午前 9:00～12:00(午後休診)
休診日	日・木・祝日
透析外来	月～土 2クール
ホームページ	https://www.jinyu-kai.com

第49回埼玉医科大学・連携施設懇談会を開催しました

埼玉医科大学は、去る10月22日に川越プリンスホテルにおいて第49回埼玉医科大学・連携施設懇談会（以下、懇談会）を開催致しました。

埼玉医科大学病院、総合医療センター、国際医療センターの3病院より「埼玉医科大学病院群の治療」として、「睡眠薬フォーミュラリの作成プロセスと普及」「多職種・多治療連携で挑む進行肝癌集学的治療」「ロボット支援手術の現状と今後の展開」について報告をいただきました。

特別講演には、厚生労働省より「今後の医療・介護連携を考える～2040年を見据えた連携のあり

方とは～」についてお話しをいただきました。

この懇談会は、先生方との連携を一層深める重要な機会として継続しており、今回で49回を迎え、会場開催にて約290名の参加者のもと盛大に開催することが出来ました。これも先生方のお力添えと感謝致しております。

今後も懇談会にご協力いただきますようお願い申し上げますと共に、先生方の益々のご健勝とご活躍を祈念致します。

埼玉医科大学・連携施設懇談会事務局



川越プリンスホテルにて会場開催風景

医療機関の方へ

● 提携医療機関・登録医制度及びインターネット予約（カルナ予約）について

🏥 提携医療機関・登録医制度について

埼玉医科大学病院と地域の医療機関とで、患者さんに一貫性のある適切な医療を提供するために相互が協力・緊密な医療提携を図ります。

目的

医療をとりまく環境の変化は地域の医療機関相互の連携を中心とした病院・医院（診療所）のあり方を大きく変えてきています。特に最近は大病院指向が強く、大病院では病態に応じた適切な治療が困難な状況になっています。そこで埼玉医科大学病院と地域医療機関とで、患者に一貫性のある適切な医療を提供するために、相互が協力・緊密な医療提携の許に、それぞれの機能の向上を図り、かつ地域医療の充実、発展に資することを目的として「提携医療機関・登録医制度」を創設いたします。近隣（関東エリア）の施設を中心に病診連携の推進に向け登録をしております。

🌐 インターネット予約（カルナ予約）

インターネット（カルナ予約）にて、診療科（一部除く）の予約が取得できます。患者情報（診療情報提供含む）を入力していただくことで、受診日の予約ができます。紹介患者さんは受診日に初診受付に寄らずに、直接診療科又は検査受付にてお待ちいただけます。なお、提携医療機関（登録医）に申し込まれた医療機関のみがシステムの利用条件になります。

【詳しくは [当院ホームページ「医療機関の方へ」](#)

→「[地域医療機関との病診連携システム](#)」→「[お申し込み方法](#)」をご覧ください。】

● 予約センター（電話初診予約）について【予約センター：049-276-1179】

📞 **予約受付時間** 8:30～17:00 月曜日～土曜日（祝日・年末年始を除く）

電話でご紹介頂く患者さんの初診予約を行います。紹介状をお持ちの初診患者さん専用となります。

ご紹介患者さんの受診科が決まりましたら、紹介状と一緒に電話初診予約ご案内書を患者さんへお渡しください。お渡しいただく際に、患者さん自身で予約センターへ電話連絡の上、予約をとってから受診いただきますようご案内お願いいたします。

※ただし、予約枠の無い診療科がありますので、予めご了承ください。

なお、患者さん自身で電話予約ができない場合は、お手数ですが、医療機関様よりご連絡いただけますようお願いいたします。



電話初診予約ご案内書

救急患者のご紹介は直接、救急センターへご連絡ください。
TEL：049-276-1199 FAX：049-295-8007

埼玉医科大学 建学の理念

- 第1 生命への深い愛情と理解と奉仕に生きる
すぐれた実地臨床医家の育成
- 第2 自らが考え、求め、努め、以て自らの成長
を主体的に開展し得る人間の育成
- 第3 師弟同行の学風の育成

埼玉医科大学の期待する医療人像

- 高い倫理観と人間性の涵養
- 国際水準の医学・医療の実践
- 社会的視点に立った調和と協力

●埼玉医科大学病院の基本理念

当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

●病院の基本方針

- 1. すべての病める人々にまごころを
もって臨みます。
- 2. 安心で質の高い医療を実践します。
- 3. まわりの医療機関と協力し合います。
- 4. 高い技能を持つ心豊かな人材を
育成します。
- 5. より幸せとなる医療を求めた
研究を推進します。

●患者さんの権利

当院は、すべての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。
これらを尊重した医療を行うことをめざします。

- ① ひとりひとりが大切にされる権利
- ② 安心で質の高い医療を受ける権利
- ③ ご自分の希望を述べる権利
- ④ 納得できるまで説明を聞く権利
- ⑤ 医療内容をご自分で決める権利
- ⑥ プライバシーが守られる権利

●小児患者さんの権利

当院は、すべての小児の患者さんには、以下の権利があるものと考えます。
これらを尊重した医療を行うことをめざします。

- ① こどもが最善の治療を受けて
生きる権利
- ② こどもが暴力から守られる権利
- ③ こどもが能力を十分に伸ばせる
ような医療を受ける権利
- ④ こどもが自分の診療について
自由に意見を述べる権利

☎ 連携医療機関からの各種問い合わせ

救急センター	: 049-276-1199	医療福祉相談室（退院調整）	: 049-276-2119
地域医療連携室	: 049-276-1876	入退院・患者支援室	: 049-276-1484
予約センター(外来初診予約)	: 049-276-1179	セカンドオピニオン受付	: 049-276-1121



埼玉医科大学病院 地域医療連携ニュース（25号）

発行：埼玉医科大学病院
 発行責任者：篠塚 望
 編集：埼玉医科大学病院広報戦略委員会・地域医療連携室
 編集責任者：樽本 憲人・中里 良彦
 電話：049-276-1876 地域医療連携室
 住所：埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
 発行日：2026年1月1日

※掲載している写真等は、関係者の同意を得ています。